



JPDAN
50th Anniversary

ご挨拶

今年2010年はJPDA創立50周年の記念すべき年となりました。10月7日と8日の両日に、50周年記念式典および APD TOKYO 2010が開催されます。50周年のテーマは「次なる50年への第一歩」、APD TOKYO 2010のテーマは「アジアから世界へ、世界からアジアへ」です。先輩諸氏のご尽力によって、今日のJPDAは会員数850余名の大きな組織となっております。私たちはこの協会をどのように維持し、協会の発展のために次なる50年に向けてどんな行動を起こすべきかを真摯に考えて行動に移さなければならないと思っております。一方で、昨今のアジアの発展は目覚ましく、パッケージデザインにおいても世界の耳目がアジアに集まっております。APD TOKYO 2010には、日本、韓国、中国、台湾、アメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、スイス、ベルギー、フィンランド、ギリシャの世界12ヶ国からパッケージデザイナーが集い、パッケージデザイングローバルサミットが開催されます。この機会を、今日のパッケージデザインが抱えるさまざまな課題と将来への展望を語りあう実り多い場にしたいと考えております。

皆さまの積極的なご参加とご協力を心よりお願い申し上げます。

社団法人日本パッケージデザイン協会
理事長 フミ・ササダ

式次第

JPDA 創立 50 周年記念式典

2010年10月7日(木)

[会場]東京国際フォーラム D7ホール

12:20	受付	6F 専用ロビー
12:50	映像	50年の歩み
13:00	開会の辞	
	式辞	JPDA 理事長 フミ・ササダ
	来賓祝辞	
13:30	基調講演	福原 義春氏
14:30	休憩	
14:50	記念講演「創造の原点」	安藤 忠雄氏
16:00	休憩	
16:20	歴代理事長・顧問 感謝状・記念品贈呈	
	閉会挨拶	JPDA 副理事長 加藤 芳夫
17:00	閉会	
17:00	APD 展覧会見学	

[会場]東京国際フォーラム D5ホール

JPDA 創立 50 周年記念パーティ & APD TOKYO 2010 前夜祭

2010年10月7日(木)

[会場]帝国ホテル 富士の間

18:30	受付	
19:00	オープニングアトラクション	
19:15	開会の辞	
	来賓挨拶	鏡開き
	乾杯	
	歓談	
	ステージアトラクション	
21:10	エンディングアトラクション	
21:30	閉会	

講演者プロフィール



福原義春 フクハラ ヨシハル

(株)資生堂 名誉会長

1931年東京生まれ。1953年慶応義塾大学経済学部卒業と同時に株式会社資生堂入社。87年代表取締役社長、97年代表取締役会長を歴任。2001年、名誉会長に就任。
東京都写真美術館長、(財)かながわ国際交流財団理事長、(社)企業メセナ協議会会長、東京芸術文化評議会議長、文字・活字文化推進機構会長、経営倫理実践研究センター理事長、全日本蘭協会名誉会長、日仏経済人クラブ日本側議長、パリ日本文化会館支援協会会長、経済人同人誌「ほぼづゑ」代表世話人、ほか公職多数。

主な著書に「部下がついてくる人・体験で語るリーダーシップ」(日本経済新聞社)、「会社人間、社会に生きる」(中央公論新社)、「文化資本の経営」(ダイヤモンド社)、「100の蘭」「101の蘭」(文化出版局)、「猫と小石とディアギレフ」(集英社)、「『自分らしい仕事』があなたを変える!」(青春出版社)、「ぼくの複線人生」(岩波書店)、「変化の時代と人間の力 福原義春講演集」(ウェッジ文庫)、「だから人は本を読む」(東洋経済新聞社)等。
趣味は洋らんの栽培、写真。

平成10年、イタリア共和国・功績勲章グランデ・ウフィチアーレ章。平成13年、北京市市荣誉市民。
平成14年、フランス共和国・レジオンドヌール勲章グラン・トフィシェ章。平成16年、旭日重光章。
平成20年、東京都中央区名誉区民。平成21年、神奈川文化賞。



安藤忠雄 アンドウ タダオ

建築家

1941年大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。
社会的な通念、慣習等既成の枠組みと境界を越え、新しい世界を求めて前向きに闘っている。

代表作に「六甲の集合住宅」、「光の教会」、「大阪府立近つ飛鳥博物館」、「淡路夢舞台」、「FABRICA(ベネトンアートスクール)」、「ビューリッツァー美術館」、「司馬遼太郎記念館」、「国際子ども図書館」、「フォートワース現代美術館」、「地中美術館」、「表参道ヒルズ(同潤会青山アパート建替計画)」、「東急東横線渋谷駅」、「プンタ・デラ・ドガーナ再生計画」など

79年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、85年アルヴァ・アアルト賞、89年フランス建築アカデミーゴールドメダル、93年日本芸術院賞、95年朝日賞、95年プリツカー賞、96年高松宮殿下記念世界文化賞、02年AIAゴールドメダル、京都賞、03年文化功労者、05年UIA(国際建築家連合)ゴールドメダル、レジオンドヌール勲章(シュヴァリエ)、06年環境保全功労者。10年ジョン・F・ケネディーセンター芸術賞、後藤新平賞。

ローマ大学名誉博士号、同済大学(上海)名誉教授。
イギリス ロイヤルアカデミー オブ アーツ、アメリカ芸術文藝アカデミーなど名誉会員。

91年ニューヨーク近代美術館、93年パリボンビドゥーセンターにて個展開催。

イエール、コロンビア、ハーバード大学の客員教授歴任。
97年より東京大学教授、03年より名誉教授。
著書に「建築を語る」「連載連載」「建築手法」「建築家 安藤忠雄」など。

阪神・淡路震災復興支援10年委員会の実行委員長として被災地の復興に尽力する。
2000年に瀬戸内海の破壊された自然を回復させるため、中坊公平氏と共に「瀬戸内オリーブ基金」を設立。
2004年より「美しいまち 大阪」の実現に向けて、大川・中之島一帯を中心に桜を植樹する「桜の会・平成の通り抜け」の活動に呼び掛け人として参加。
2007年より東京湾のゴミの埋立地を緑の森にする「海の森募金」の事業委員長を務める。



APD
TOKYO
PACKAGE DESIGN
GLOBAL SUMMIT
2010

カンファレンス パッケージデザイングローバルサミット

2010年10月8日(金)
[会場]東京国際フォーラム D7ホール

09:30	受付	6F専用ロビー	15:45	パネルディスカッション
10:00	開会			パネラー: JPDA代表(日本)
10:15	挨拶	JPDA理事長 フミ・ササダ		KPDA代表(韓国)
	来賓祝辞	経済産業省 海外4団体代表		SPTA代表(中国)
				TPDA代表(台湾)
				PDA(イタリア)
10:30	基調講演	「ここを包む」 栄久庵 憲司氏		PDA(ベルギー)
				PDA(フィンランド)
11:30	記念講演			USA(アメリカ)
		「Measuring Package Design's Return On Investment」 ロブ ワレス氏		コーディネーター: フミ・ササダ
12:30	昼食	ランチ(弁当)を配布		
14:00	エリアルレポート	～6地域からのパッケージデザインの現況レポート～	17:30	APD展示作品優秀賞授賞式
			18:00	次回APD開催宣言 KPDA代表
15:30	休憩		18:10	閉会

会場地図

創立50周年記念式典
APDカンファレンス 両会場
東京国際フォーラム
6F受付後D7ホール
(クロークはございません)

APD展示会場
東京国際フォーラム
D5ホール

記念パーティ&APD前夜祭
帝国ホテル3F富士の間

●会場内に飲食物の持ち込み禁止

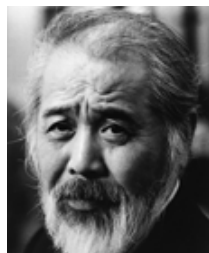


- A 三田線/日比谷駅
B 有楽町線/有楽町駅
メトロ C 日比谷線/日比谷駅
D 千代田線/日比谷駅



用紙提供 株式会社 竹尾 ヴァンヌーボF-FSホワイト(日清紡ペーパー プロダクツ)

[問い合わせ] 社団法人日本パッケージデザイン協会 〒113-0033東京都文京区本郷3-4-3ヒルズ884ビル6F Tel:03-3815-2723 Fax:03-3815-2548 <http://www.jpda.or.jp>



栄久庵憲司 エクアン ケンジ

GKデザイングループ代表

1929年東京生まれ。1955年東京芸術大学美術学部図案科卒業。1957年GKインダストリアルデザイン研究所を設立、所長となる。1970～76年(社)日本インダストリアルデザイナー協会理事長。1971～73年第8回世界インダストリアルデザイン会議実行委員長。1975～77年国際インダストリアルデザイン団体協議会会長。1983～85年国際科学技術博覧会 会場施設デザイン専門委員。1983～99年東京国立近代美術館運営委員。1985年第2回国際デザインフェスティバル総合プロデューサー。1987～89年世界デザイン博覧会総合プロデューサー(名古屋)1992～94年東京都デザインアップ委員会委員長。1995～2001年通商産業省生活産業局伝統的工芸品審議会委員。

現在Design for the World(世界デザイン機構)会長。
国際インダストリアルデザイン団体協議会名誉顧問。日本デザイン機構会長。道具学会名誉会長。

著書「道具考」鹿島出版会(1969)「インダストリアルデザイン」日本放送出版協会(1971)「デザイン」日本経済新聞社(1972)「幕の内弁当の美学」ごま書房(1980)「道具の思想」PHP研究所(1980)「The Aesthetics of the Japanese Lunchbox」The MIT Press (1998)「インダストリアルデザインが面白い」河出書房新社(2000)「道具論」鹿島出版会(2000)「道具寺建立縁起」鹿島出版会(2006)他多数

1979年 ICSID・コーリン・キング賞、1981年 アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン(米国)名誉博士号
1987年 (財)国際デザイン交流協会 第3回国際デザインアワード、1988年 IDSA(米国工業デザイン協会)世界デザイン大賞、1992年 通商産業省デザイン功労者表彰 藍綬褒章、1993年 JIDA大賞 (JIDA)
1996年 Sir Misha Black Medal (英国)、1997年 芸術文化勲章(フランス共和国)、1999年 ロンドン・インスティテュート(英国)名誉博士号、2000年 勲四等旭日小綬章、2001年 ヘルシンキ芸術大学(フィンランド)名誉博士号、2003年 ラッキーストライク・デザイナー・アワード受賞、2004年 フィンランド獅子勲章コマンドー章受章(フィンランド共和国)、2005年 中国国際科学技術貢献賞受賞(中華人民共和国)

*ICSID(国際インダストリアルデザイン団体協議会International Council of Societies of Industrial Design) *JIDA(社団法人日本インダストリアルデザイナー協会)



Rob Wallace ロブ・ワレス

Wallace Church Inc.,ワレスチャーチ インク 代表 マネージングパートナー

ニューヨークに拠点を置き、ブランドアイデンティティ戦略とパッケージデザインコンサルタントを業務とするワレスチャーチ社のマネージングパートナー、ロブ ワレスは、世界の最も成功している消費者製品ブランドのマーケッター達と、彼らのブランドの重要な消費者との接点であるパッケージデザインの仕事をしている。

近年のワレスチャーチ社の顧客は、コカコーラ、ユニリーバ、ネスレ、プロクター&ギャンブル、クラフト、ハインツ、ミラーブルーイング、デル、バカルディ等多数。

経歴は、グレイアドバタイジング勤務ののち、3社のマーケティングコンサルタント会社を経て、1985年スタンチャーチ社に所属。彼の戦略的洞察力で創造的過程に貢献し同社に賞をもらっている。

ブランドアイデンティティは、ロブ ワレスの仕事であるばかりでなく情熱である。デザインに投資する費用のROI(投資利益率)の先端的戦略家として知られているワレス氏の目的は、ブランドアイデンティティとパッケージデザインが、マーケッターのただひとつの最も効果的な道具であることをしめすことである。